

令和7年度 旭区運営方針(案)

(区長： 東中 秀成)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	「安心して住み続けられるあたたかいまち 旭区」の実現
使命	「安心して子育てできるまち」「やさしさあふれるまち」「活力あるまち」「安全に暮らせるまち」の実現に向けて、「ニア・イズ・ベター」に基づく施策・事業を展開するとともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）の着実な推進、官民連携や業務改革等の推進による効率的・効果的な行政運営に取り組む。
令和7年度所属運営の基本的な考え方	「安心して住み続けられるあたたかいまち 旭区」の実現に向けて、次の4点に重点的に取り組む。 ・子育て・教育支援等の一層の充実 ・区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の推進 ・地域コミュニティの活性化とまちの魅力の向上 ・地域防災力・地域防犯力の強化

重点的に取り組む経営課題						
経営課題1 子育て・教育支援等の一層の充実						
	5 決算額	29 百万円	6 予算額	35 百万円	7 予算額	40 百万円
課題認識	・すべての子育て家庭が安心と喜びを実感しながら、子どもを生み、育てられるよう子育て支援を充実させる必要がある。 ・学校・家庭・地域が連携して、子どもが健やかに成長するために、学力・体力向上等の支援や、ICTを活用した学習が進む中、子どもたちがICTに親しみ、活用していくための学習支援が重要である。 ・経済的な要因等による生活環境の問題により、学習環境や生活習慣が十分でない中・高生が、自らの選択によって進学等ができるよう、社会的自立に向けた支援が必要である。					
主な戦略 (課題解決の方策)	【1-1 子育て支援の充実】 ・「あさひ子育て安心ネットワーク（あさひキッズネット）」を中心とした地域全体で子育てを支える体制やしくみづくりの推進 ・母子保健と子ども・子育てに関する福祉のシームレス化により、妊娠期から乳幼児期までの子育て中の保護者に対する相談支援体制の強化 【1-2 子どもへの教育支援等】 ・学校・家庭・地域が連携した子どもの学力・体力向上等の支援やICTを活用した学習の支援 ・安心できる環境（居場所）において、学習支援、自立支援、相談や居場所にかかる支援の実施					
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標)	子育てに関する相談やサポートに満足していると答えた割合（乳幼児健診時の親へのアンケート） 令和9年度末までに85%以上 区役所からの連携や支援を得られていると答えた学校 令和9年度末までに小学校全10校、中学校全4校					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	7 年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績	

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の推進

		5 決算額	9 百万円	6 予算額	10 百万円	7 予算額	10 百万円
課題認識	課題認識	- 健康寿命を延ばし、誰もが住み慣れた地域で自分らしくいきいきと心豊かに暮らすことができる環境を整備する必要がある。 - 独居世帯や地域コミュニティの変化などにもとない社会的に孤立しているおそれのある状況の方や複合的課題を抱える方が存在している現実があり、それらの方の早期発見、支援につなげることが求められる。 - 障がいのある人の社会的障壁を取り除き、自立及び社会参加支援の取組を進める必要がある。 - 高齢者や認知症の方が増加する傾向にあり、介護予防や地域とつながることができる居場所づくりをすすめる必要がある。					
	主な戦略 (課題解決の方策)	【2-1 人生百年時代の健康づくり】 - 関係機関との協働による健康意識向上に関する啓発の強化 - 地域での自主的な健康づくり活動に対する支援 【2-2 誰もが暮らしやすいまちづくり】 - 医療・福祉・介護・その他関係機関やNPO法人等と一体となったニーズに応じた包括的支援体制の強化 - 地域住民の協力のもと、日常の見守りや支援体制を充実 - 支援を必要とする人に必要な支援が行き届くよう、相互理解の醸成や啓発活動を実施					
	アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標)	健康啓発事業参加者の満足度の割合（健康啓発事業参加者へのアンケート） 令和9年度末までに85%以上					
		障がいのある方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになっていと感じると答えた割合（障がい者福祉サービス利用者へのアンケート） 令和9年度末までに70%以上					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	7 年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績	

経営課題3 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の向上

5決算額

51百万円

6予算額

54百万円

7予算額

56百万円

課題認識

- ・地域活動協議会をはじめ、区民の自主的なコミュニティ活動を支援する必要がある。
- ・区民のつながりやまちのにぎわいなど、旭区の魅力を広く発信し続ける必要がある。

主な戦略
(課題解決の方
策)

- 【3-1 地域コミュニティの活性化促進】
- ・地域団体やNPO、企業等が幅広く参画し、自律的に地域課題の解決に取り組む地域活動協議会の運営を支援
- 【3-2 地域資源を活用したまちの魅力づくり】
- ・区内の交流を活発にし、新たなつながりや絆を深めて、旭区の住みやすさに共感していただけるよう、まちの魅力向上につながる取組を実施

アウトカム
指標
(経営課題の解決に
向けた進捗度合を示
した指標)

地域活動協議会に対してまちづくりセンター等が地域の実情やニーズに即した支援を実施していると思うと答えた割合（地域活動協議会へのアンケート）
令和9年度末までに70%以上

イベント等の取組が旭区の魅力を高めることにつながると思う参加者の割合
令和9年度末までに80%以上

アウトカム
指標の達成状
況
(定量評価)

7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成

前年度実績

経営課題4 地域防災力・地域防犯力の強化

		5決算額	12百万円	6予算額	14百万円	7予算額	20百万円
課題認識	・地震や台風、火災、河川氾濫等による災害の発生や、被害の拡大を最小限に食い止めることができる、旭区のもつ強みである「地域コミュニティのつながりの強さ」を活かし、「自助・共助」の意識向上と自主防災組織の継続的な強化が重要である。 ・公助の拠点である旭区災害対策本部が災害時にいち早く機能するために区職員の防災体制の強化と直近参集者職員との連携をしっかりと進め、継続していくことが重要である。 ・旭区医師会、旭区歯科医師会、旭区薬剤師会、旭区協力病院、福祉関係機関、福祉避難所と、より連携を図っていく必要がある。 ・水害時避難ビルの指定や災害時の協力協定などについて民間事業者と、より連携を図っていく必要がある。 ・区民の自転車マナーの向上や特殊詐欺や自転車盗をはじめとする街頭における犯罪の減少に向けた、地域、警察、関係企業・団体と連携した啓発活動に引き続き取り組む必要がある。 ・地域、警察、その他関係団体と協働した防犯・交通安全対策に引き続き取り組む必要がある。						
主な戦略 (課題解決の方策)	【4－1 地域コミュニティの強さを活かした自助・共助によるまちづくり】 ・防災意識の啓発や防災教育の推進、防災物資の計画的配備の実施 ・地域住民、特に若い世代が地域防災訓練などに参画するための仕掛けづくり ・災害時の医療体制に関する旭区医師会や医療機関、福祉機関などとの一層の連携 ・大規模災害時の区災害対策本部設置、機能向上のための直近参集職員との一層の連携 ・水害時避難ビルの指定や災害時の協力協定などに関する民間事業者との一層の連携 【4－2 地域防犯力の強化】 ・区民の自転車マナー向上や自転車盗、特殊詐欺をはじめとする街頭における犯罪の減少に向けた取組の実施						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標)	区内各地域の地区防災計画に基づき、自主防災組織等地域主体による地域実情に即した訓練など防災活動を実施した地域 令和9年度末までに10地域						
	区内の「大阪重点犯罪」（自転車盗を含む）発生件数 令和9年度末までに360件以下						
	区内の自転車交通事故発生件数 令和9年度末までに72件以下						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成					前年度実績	

自己評価 (運営方針全体の定性評価)	
-----------------------	--

今後の方針	
-------	--